報道取材情報（沼津市）　　平成 29 年7月14日（金）発表

名 称 等	駿河湾深海生物館　リニューアルオープンイベントの開催について
実施日時	平成 29 年7月 22 日（土）　10 時～12 時
場　　所	沼津市戸田地内（駿河湾深海生物館）
担　　当	企画部　政策企画課 直通　055－934－4704　　内線　2424

1　内 容

本年５月８日からリニューアルを進めていた「駿河湾深海生物館」の改修が完了し、22日にリニューアルを記念してオープンイベントを開催します。

オープンイベントには、監修者の１人でお笑い芸人のココリコ田中直樹さんが来館し、オープニングセレモニーや館内鑑賞ツアーを実施します。

【リニューアルオープニングイベント次第】

10：00～10：30　オープニングセレモニー
（主催者挨拶、来賓祝辞、くす玉割り、監修者からコメント）

10：30～12：00　館内鑑賞ツアー（田中氏、猿渡氏による館内解説）
※人数を分けて２回程度の入れ替え制（入館料：大人 200 円、小中学生 100 円）

10：30～12：00　真夏の深海魚撮影会
（オープンニングセレモニー終了後、同会場にて開催：無料）

2　経緯・経過

駿河湾深海生物館は、昭和 56 年から日本大学文理学部の安原教授が学術調査のため深海魚を採取し標本にし、昭和 62 年に戸田造船郷土資料博物館に併設された施設で、収集された深海生物の展示が始められました。

本施設には駿河湾に生息する深海魚を中心に貴重な展示物もありますが、年月が経ち老朽化が激しく、近年の深海魚ブームであっても来館者が年々減少していることから、リニューアルに着手することとしました。

リニューアルの監修者として(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のココリコ・田中直樹氏、東京大学大気海洋研究所海洋生物資源部門　助教　猿渡敏郎氏及びサイエンスライター山村紳一郎氏に監修を依頼し、それぞれ専門的見地から助言及び指導をいただき昨年度構想をまとめました。

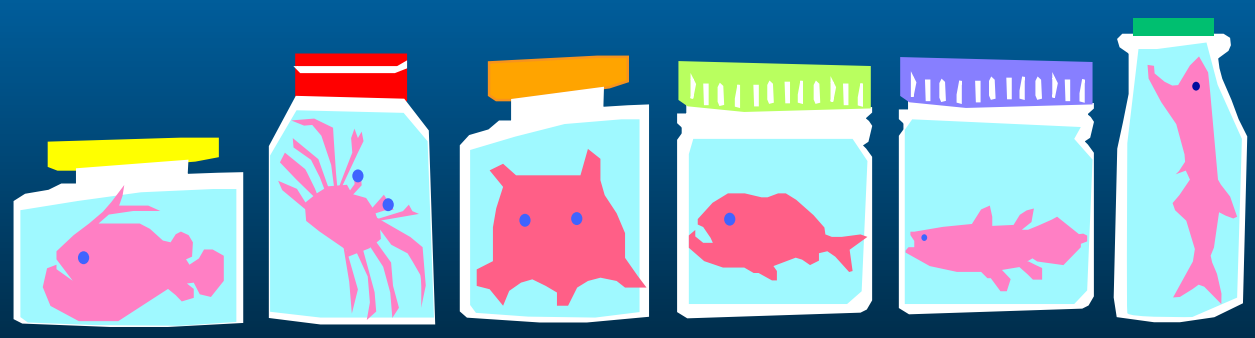
今年度に入り展示棚や照明施設、新標本の作製などの改修工事を進める一方、旧施設の撤去作業や新標本の展示、表示パネルの作成などは本市職員で構成されるプロジェクトチームの作業により進められ、温かみのある気持ちのこもった施設に生まれ変わりました。

3　特徴

⑴　戸田で水揚げされる深海生物を中心に展示

「世界一大きいタカアシガニ」、「戸田でおいしい深海魚」、マニアに大人気「深海ザメ」の特別展示コーナーなど、こだわりの展示が充実しています。

キミの知らない「深海」が、ココにある。



駿河湾深海生物館
リニューアル OPEN

2017 年 7 月 22 日（土）

AM10 時より
オープニングイベント開催

オープニングゲスト

こんなふうに
変わったよ！

ココリコ
田中直樹　名誉館長

オープニングイベント

田中名誉館長と行く！
館内鑑賞ツアー
①10：30 ～　②11：00 ～
各 50 名

真夏の深海魚撮影会
10：30 ～

【深海生物ジオラマステージ】
未だ謎の多い深海へのロマンが掻き立てられる
ダイナミックなジオラマステージ

【戸田発！世界一のタカアシガニ】
世界最大！そして戸田の顔！
「タカアシガニ」の魅力を様々な視点から紹介します！

【駿河湾深海美魚図鑑】
個性的な「美魚」たちが大集合！
どの美魚があなたのタイプ？

【『深海ザメ』深海のトッププレデター】
獰猛な海の生物の代表格として知られる
サメの仲間たちをズラリと一同に展示。

【深海エッセンスニュース】
駿河湾や深海の不思議を、学術的に掘り下げます。
新聞記事や学術論文など様々な情報が充実！

【戸田でおいしい深海魚】
煮てよし、焼いてよし、
揚げてよし、勿論刺し身も美味！
深海魚の「食」の魅力に迫ります！

【田中名誉館長コーナー】
名誉館長・ココリコ田中がお出迎え。
オススメの生物やニュース、面白いネタが満載！

＜入館料：大人 200 円　小・中学生 100 円＞

お問い合わせ
沼津市水産海浜課
055-934--4753

Proud NUMAZU
詳しくは facebook「深海魚の聖地戸田」で検索

⑵ 田中直樹名誉館長の特別コーナー展示

芸能界随一の生き物好き「田中名誉館長コーナー」をはじめ、特別展示について名誉館長が自ら動画に出演し展示の紹介をしています。

⑶ オロシザメのはく製

これまでに数体しか確認されていない希少なオロシザメですが、新種登録の際に論文記載された対象個体がはく製として展示されています。その他液浸標本としても2体展示しており、合計3体の個体を展示している施設は他にはありません。

⑷ ソコボウズの液浸標本。常設展示では国内初。

水深 2,000mで捕獲した全長 1,200mm、体高 200mm の大型深海魚です。2013 年に国立科学博物館の特別展「深海」で展示され人気を博した深海魚です。

⑸ 展示個体数　はく製：約 25 体、液浸標本：約 75 種、約 110 体、模型：約 40 体

4　監修者のプロフィール

⑴ 田中直樹氏　お笑いコンビ　ココリコ

芸能界随一の生き物好きとして関連番組への出演多数。本館の名誉館長に就任。

戸田地区で開催している「戸田深海魚大学」の特任教授も就任中。

⑵ 猿渡敏郎氏　東京大学大気海洋研究所海洋生物資源部門　助教

長年にわたり駿河湾の海洋生物の研究を実施している。20 年ほど戸田のトロール漁船に乗船しメヒカリの研究を行い第 17 回日本 DNA 多型学会優秀研究賞を受賞している。また、戸田小学校などで深海魚出前講座も実施している。

⑶ 山村紳一郎氏　サイエンスライター

国立科学博物館の展示企画の監修や科学イベントのプロデュースなどの経験を持ち、子供向け科学雑誌の「子供の科学」にも執筆している。

5　本市の取り組み

本市では、深海魚という貴重な地域資源を活用し、戸田地区における観光交流客数を増加させ、地域産業の更なる活性化を図るため、市職員で構成されたプロジェクトチームにより各種事業を推進しており、本施設のリニューアルはその一環です。